

魚の城下町

みんなが主役のまち



ふるさと知床の地に学び またひとつ大人に ～第36回ふるさと少年探険隊～

知っているようで知らない

がんとお金の結



がんは国民病!?

がんは、国民が死亡する最大の原因と言われており、3人に1人は何らかのがんで亡くなる時代となりました。また、国民の2人に1人が生涯のうち何らかのがんに罹患すると言われており、もはや珍しい病気ではなくなっています。羅臼町の平成29年の死亡原因をみてみると、死亡者数71名のうち、11名はがんが原因で亡くなっていました。(15.5%)

町で行っているがん検診でも毎年数名にがんが発見されています。

今回は、がんについて医療費等のお金の面から考えてみたいと思います。

わかりやすいように検診等でみつかると早期胃

がんのAさん、進行したがんのBさんと設定して、具体的な例で示してみたいと思います。



Bさん		Aさん
胃進行がん	診断名	早期胃がん (胃がん検診で判明)
手術療法+化学療法	治療方法	内視鏡的手術
約652万円	治療にかかった費用	約61万円
平均121日間	入院日数	3~5日間
がんの転移や他疾患の発症もみられる	その他	年に1回程度、経過観察が必要

※治療にかかった費用等は、羅臼町国保に医療機関から請求がきた金額の平均です。

Aさん、Bさんともに同じ胃がんであっても、がんの進行具合・治療方法等によって、入院日数、治療にかかる費用は変わります。

医療費については加入している健康保険や各種がん保険等で、負担が軽減されるような仕組みがあります。しかし、治療期間が長くなるとや保険適用外の治療となると金銭的な負担は大きくなってきます。また、治療費の他に、通院にかかる費用等の諸経費もかかります。

収入の面から考えてみると、早期のがんであれば、比較的短い入院となるため、体への負担も少なく、早々に職場復帰が可能です。しかし、がんの発見が遅くなることで治療期間が長くなり、仕事をやめざるを得なくなることもあり、収入がなくなるといこともあります。

がんの罹患は、40歳ころから徐々に増加し、その年齢は働き盛りの年齢と重なります。働き盛りの方こそ、仕事の忙しさ等を理由にせずに気になる症状があれば速やかに受診して適切な治療を受けてもらいたいものです。

がんを見つけるために…

がんは、最初は1つのがん細胞からはじまり、細胞分裂を繰り返しながら時間をかけて検査で発見できる大きさのがんになると言われています。(1つのがん細胞から1cm大の大きさになるまで10～15年かかると言われています)

早期にがんをみつける方法として、がん検診があります。

がん検診は、様々な種類や方法があります。国では、死亡率を減少させる効果を認めて勧めている5つのがん検診があります。

羅臼町においても、科学的根拠に基づいた5つのがん検診を実施しており、検診費用の助成を行っています。(下記の表のとおり)



種類	検診方法	対象年齢	検診間隔	検診費用※3
胃がん検診	問診及び胃部X線検査(胃バリウム検査)または胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※1	2年に1回 ※2	1,200円～3,100円
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年に1回	500円～800円
肺がん検診	胸部X線検査及び喀痰細胞診併用			300円～500円
乳がん検診	問診及びマンモグラフィ検査	20歳以上	2年に1回	1,000円～1,900円
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診			1,400円～5,000円

※1 当分の間、胃部X線検査については40歳以上に対して実施可

※2 当分の間、胃部X線検査については、年1回実施可

※3 検診費用は検診機関で異なります。

がん検診には、メリット・デメリットがあります。

メリット がんを早期に発見し、治療を行うことで命を守ることができる

デメリット ①がん検診でがんが100%見つかるわけではないこと ②結果的に不必要な治療や検査を招く可能性があること ③検査に伴う偶発症の問題 ④心理的な負担

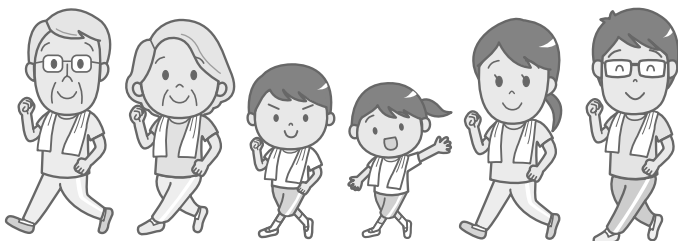
これらのメリット・デメリットを理解した上で、がん検診を受ける必要があります。

がんを早期発見するためには、自覚症状がなくても定期的には有効ながん検診を受ける事が必要になります。

また、がん検診を受けて精密検査が必要と判定されたら、速やかに精密検査を受ける事が大切です。

がんを早期に発見し、適切な治療を行うことは、命を守ることにつながります。

自分自身や家族、友人、社会のために、がん検診を受けませんか？



登録して いますか?

現在、町では「防災情報メール」と「町内情報メール」の配信を行っています。このメールでは、それぞれ警報級の気象情報や悪天候によるごみ収集中止などについて配信をしていますが、町民の皆様より緊急速報メール(エリアメール)と羅臼町防災・町内情報メール(登録制)の違いについてわからないとお声をいただくことも多いので、今回はこの2つのメールの違いについても詳しく紹介をいたします。

●緊急速報メール(エリアメール)

災害等の発生時、緊急を要する情報を、羅臼町のエリアにいる町民の方や滞在者(旅行者等)の方の携帯電話に、自動的に配信内容を表示することができるメール配信サービスとなっています。



緊急速報メール(エリアメール)の良い点

事前の申し込みの必要がない	自然災害や避難情報等、生命に係る緊急性の高い情報を、各携帯電話会社の電波により、羅臼町のエリア内にいる町民や滞在者(旅行者等)の方へ強制的に配信するため、登録の必要はありません。
費用は無料	月額使用料、通信料等無料で受信することができます。

●緊急速報メール(エリアメール)の注意が必要な点

配信できる内容に制限がある	緊急速報メール(エリアメール)の配信は、地域へ与える影響が大きいので、配信が可能な情報は予め決められています。
受信ができない携帯電話・スマートフォンがある	対応していない機種があるので、必ずメールの受信ができるとは限りません。詳しくは、所有している携帯電話会社へお問い合わせ下さい。
配信できる文字数に制限がある	通常のメールサービスと違い、配信できる文字数に制限があるため、細かい情報の周知ができません。
状況により受信できない場合がある	通常のメールサービスやショートメッセージと違い、各携帯電話会社では、メッセージのお預かりサービスを行っていないので、圏外や電波状態の悪い場所又は、通信中(通話中、パケット通信中)は受信ができません。

●羅臼町防災・町内情報メール(登録制)

緊急速報メール(エリアメール)は、上記のとおり配信内容に制限があるため、自由な運用ができません。また、状況によっては受信ができない場合もあります。

町では、防災・町内情報をより町民の皆様へ伝達ができる手段の多様化を図るため、防災行政無線、緊急速報メール(エリアメール)のほか、「羅臼町防災・町内情報メール(登録制)」の運用を行っています。



羅臼町防災・町内情報メール(登録制)とは?

受信の制限がない	町内はもちろん、町外にいても、防災情報の受信ができます。
防災行政無線と同様の情報を配信	町では、悪天候が予想される段階から、気象の注意喚起及び道路の通行規制、停電情報等、防災行政無線で周知を行っていますが、各ご家庭の戸別受信機の近くにいない場合は、情報を入手することができません。 また、気象の注意喚起や停電の情報等は、緊急速報メール(エリアメール)の配信はできません 羅臼町防災・町内情報メール(登録制)では、防災行政無線と同様又は詳細な情報を、文字により確認することができます。
配信している内容	防災・町内情報メールを使い周知している主な情報は下記のとおりとなっておりますが、その他にも状況に合わせて様々な情報を周知しています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>～防災情報メール～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●気象情報 ●地震・津波情報 ●避難情報 ●国民保護情報 ●町内の通行止め情報 等 </div> <div style="text-align: center;"> <p>～町内情報メール～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヒグマの出没・被害情報 ●ごみ収集の中止 ●阿寒バスの運行中止 等 </div> </div>

● 羅臼町防災・町内情報メール(登録制)を受け取る方法

役場のパソコンから登録者の携帯電話等へメールを送信しますので、受信設定を変更し、役場からのメールを受信できるように設定してください。

メールが受信できる環境であれば町外にいても防災情報を受け取ること出来ます。また、ごみ収集の中止等の防災行政無線を聞き逃してもメールにて確認することも出来ますので、ぜひ登録をお願いします。

※登録は無料ですが、通信料は登録する方のご負担となります。(メール受信1回あたり、1円～2円程度のメールの受信料が発生します。)



● 羅臼町防災・町内情報メール(登録制)の登録方法について

登録方法については下記のとおりとなります。

● メールで登録する場合 → 次の順に操作してください。

- 1 QRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください



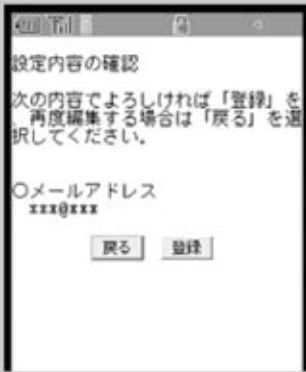
- 2 システムから仮登録通知のメールが来ます



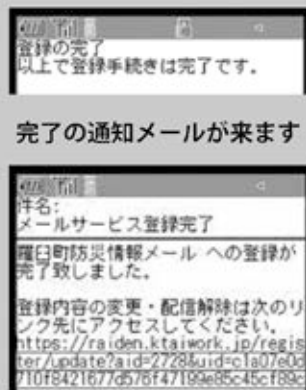
- 3 URLにアクセス
氏名の入力と配信情報の選択を行います



- 4 内容の確認を行います



- 5 登録完了です



町内情報メール

※QRコードが読み取れない方は下記のアドレスに空メールを送信。
chounai.rausu-town@raiden.ktaiwork.jp



防災情報メール

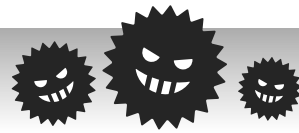
※QRコードが読み取れない方は下記のアドレスに空メールを送信。
bousai.rausu-town@raiden.ktaiwork.jp

※rausu-town@raiden.ktaiwork.jpからのメールを受信許可するように設定してください。

役場に来ていただいてその場で登録することも出来ますので、その場合は携帯電話をご持参の上、役場2階総務課へお立ち寄りください。

何かご不明な点がある場合についても総務課(☎87-2111)へお問い合わせください。

インフルエンザについて



今年は本州では猛暑や豪雨で被害が多発しました。どんな冬を迎えるのでしょうか。

さて、毎年秋から冬にかけてインフルエンザの流行シーズンです。人によっては重症化する恐れもあります。流行を防ぐには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

- ①正しい手洗い……私たちは毎日さまざまなものに触れています。そのため自分の手にもウイルスがついている可能性があります。帰宅時や調理の前後、食事の前などこまめに石鹸で洗いましょう。
- ②普段の健康管理……インフルエンザは免疫力が弱っていると感染しやすくなります。普段から、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ免疫力を高めておきましょう。
- ③適度な湿度を保つ……空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。適度な湿度(50%から60%)を保ちましょう。
- ④予防接種を受ける……ワクチンを打つことで発病の可能性を減らし、重症化を予防することが期待できます。13歳以上では原則1回、13歳未満は2回接種となります。起床らうす診療所でも接種が可能ですので、早めに予約しましょう。

しかし、もし、急に38℃以上の高熱が出て、のどの痛み、全身の痛みや倦怠感などの症状が出た場合は早めに医療機関に受診しましょう。

インフルエンザにかかってしまった場合、熱が下がってもウイルスは体内に残っていて体外に排泄します。数日は自宅療養してください。医師の指示により、登校や出勤するようにしましょう。

～ 8月31日現在の特定健診受診率 ～

対象数：1,481名 受診者数：179名 受診率：12.1%

羅臼町役場 保健福祉課 保健師
TEL 87-2161

子育て情報ひろば～すくすく～

ありんこは毎日月～金
9:30～11:30まで
火・水は午後も開放!



バス遠足は「ゆめの公園」。バスの中で、遊び、お弁当と初めての体験をとてもしっかり受けた。楽しんでる姿に驚きました。おそろいベシ・あなどれない2歳児!お母さん～お疲れ様でした。



0～3歳までの未就園児さんを集めて毎日遊ばせています。何回か通っているうちに子ども達は友達が気になります。同じことをやってみたいからやってみるようになります。

3ヶ月のお子さんも来ていますが見ているのです。だまって観察しているのです。ハイハイする頃には見てきたことに戸惑いなく参加でき、ホールデビューしている姿があります。この0歳からの保育がいかに大事かを知ります。

2才後半になると排泄自立、自尊心が芽生え、自分よりちいさい子にお世話する姿があります。ありんこちゃんはずいずい!

★毎日開放してあります★(音は録音)

♪10月・11月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳～3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳～3歳対象)

10月1日(月) ママの日	10月3日(水) ありんこ広場	10月5日(金) すくすく広場
10月10日(水) 羅臼幼稚園訪問	10月12日(金) ヨーガ教室	10月17日(水) ありんこ広場
10月19日(金) かもめ号読み聞かせ	10月24日(水) ありんこ広場	10月26日(金) のびのび広場
10月31日(水) ありんこ広場	11月2日(金) すくすく広場	11月5日(月) ママの日♪
11月7日(水) ありんこ広場	11月14日(水) ありんこ広場	11月15日(木) おはなし会
11月16日(金) かもめ号読み聞かせ	11月21日(水) ありんこ広場	11月26日(月) 計測
11月28日(水) ありんこ広場	11月30日(金) のびのび広場	

*健康ヨーガ教室は事前に申し込みが必要です。3日前までにお申し込みください。

*毎週火曜・水曜日の13時～16時30分まで一時預かりを行っています。事前にお申込み下さい。

*お問い合わせ先：：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』Tel88-1515

健康管理していますか

～みんなで育む・みんなの診療所～

10月1日より新たな健診を始めます。興味がある方は検査してみませんか？

メリット

- ・診察がなく、検査時間が10分程度です。結果は後日郵送になります。
- ・病気の早期発見につながります。

①動脈硬化健診 1,500円+税 **NEW**

動脈硬化とは、血管の内側にコレステロールなどが付着して血管が狭く硬くなり、血液の流れが悪くなった状態です。悪くなると脳卒中や心筋梗塞といった命にかかわる病気を引き起こすと言われてしています。

自分の血管年齢を知って病気を予防しましょう。



②ピロリ菌検診 2,000円+税 **NEW**

ピロリ菌とは、人の胃粘膜に棲み、胃の炎症を起こす菌です。

感染すると、慢性胃炎、萎縮性胃炎、胃潰瘍、胃ポリープ、胃がんになる可能性があります。

採血だけでできるピロリ菌検査で、胃がんのリスクを減らしましょう。



③骨密度健診 2,000円+税 **NEW**

更年期以降の女性ではホルモンバランスが変化するため骨密度は急激に低下するため骨粗鬆症を引き起こす要因になります。

あなたの骨は大丈夫ですか？



診療所でできる健診一覧

- ◆雇入れ・事業所健診……………5,060円～12,000円
- ◆船員手帳健診……………9,180円～15,120円
- ◆協会けんぽ生活習慣病予防健診……………0円～3,780円
- ◆人間ドック……………37,800円～41,580円
- ◆心臓ドック……………54,000円（役場の助成金がある場合は24,000円）
- ◆脳ドック……………32,400円（役場の助成金がある場合は17,400円）



受診希望の方はお気軽に診療所までお問い合わせください。
1年ごとの定期健診をお勧めします。

～予約・お問合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116



子どもの自律・親育ち応援チーム

「^お緒むすび」が設置されました



経緯

前年度、庁内子育て支援管理職プロジェクトにおいて家庭教育の施策を検討すべきとの方向性が示され「親育て部会」で1年をかけて課題や実情の洗い出しを行いました。

その結果、子どもの自己肯定感を育てる温かい親子関係を築き、親自身が子育てを通して成長する「親育ちの応援」や「子どもの自律」を助ける仕組みづくりの必要性が導き出されました。そして行政間連携を図りながら学校・家庭・地域に協力を求めて緒(糸)を結び、専門職の知識とノウハウを導入して活動していくことになりました。



趣旨

羅臼町では長きにわたり改善されていない子どもから大人までに共通した生活習慣に起因する健康課題があります。この負のスパイラルをなんとか断ち切り、生涯を通じて心身共に明るく健康な生活を送れるようにするにはどうしたらよいかを考えました。

そして自ら考え気づき行動する「子どもの自律」と「家庭の教育力の向上」を目的に、生活習慣の改善と読書習慣の定着に向けた事業の計画・実行・検証のため設立しました。

対象

「子育て期」は胎児期から18歳までの子育てを対象にしています。

この町で豊かな子育てができるよう地域ぐるみの協力が必要です。「緒むすび」は、その繋がりを広げていきたいという思いをこめたチーム名となっています。

自律心の育つとき

自律というのは自分の衝動などを自分でコントロールする。自分で自分を律する力です。法律とかによってコントロールされるのではなく、自分でするから自律なのです。—略—

依存経験の少ない子どもは本当の意味でしっかりとした自律心が身についていかないものです。—略— その自律性の基盤は幼児期の前半にもっとも感受性豊かに育つのです。—略—

精神科医 佐々木正美氏 「子どもへのまなざし」 180pより

構成メンバー

教育委員会

●代表 石崎佳典

(社会教育主事) 鹿又貴美子 (栄養士) 菊地理恵子 (司書) 田中寿子 (幼稚園教諭) 高原美樹 (幼稚園教諭)

保健福祉課

●副代表 飯島祥子

(保健師) 森山富美子 (栄養士) 福岡千尋 (歯科衛生士) 若山幸子 (保育士)

構成メンバーは、設置要綱に基づき主催事業及び教育委員会・保健福祉課が主催する子育て関連事業に関わります。

活動内容

1 学習機会の提供

左記の通り予定

2 生活調べアンケートの実施・検証

羅臼町子どもの読書活動推進計画に基づくアンケート、子どもの生活実態アンケート、項目を検討し実施するとともに結果から課題を抽出する

3 「標語」を活用して啓発活動を行う

啓発物資を作成し配付する
(シンボルデザイン作成中)

4 家庭、地域、学校、行政間の情報収集、情報共有及び相談窓口

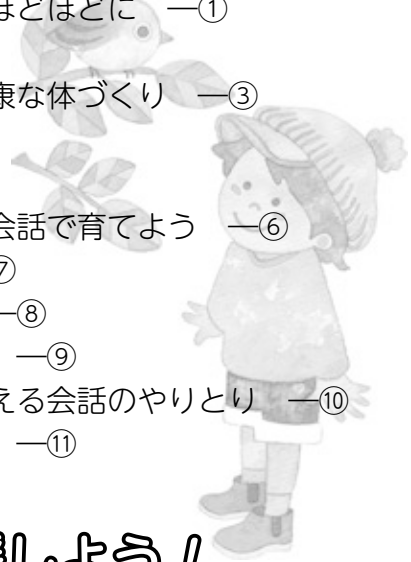
連絡先：教育委員会 社会教育課 TEL 87-2004 FAX 87-2256



お母子のへその緒は、やがて おひととの緒むすびへ。

【羅臼の親育ち応援】 標語で発信

- らうすのおやそだちおうえん
- ライン（SNS）やゲームは 時間を決めて ほどほどに ー①
 - 運動で 体力つけて 肥満予防 ー②
 - 好きなものだけ食べないで バランス栄養 健康な体づくり ー③
 - 「ノー！」も大切 家庭のしつけ ー④
 - おやつを食べたら 歯磨きへGO！ ー⑤
 - 優しい心や思いやり 読み聞かせ 読書や会話で育てよう ー⑥
 - その子らしさを認めて ほめて 励まそう ー⑦
 - たくましく 生きる力は 体験活動から ー⑧
 - 小さな役割 お手伝い 自立の準備を少しずつ ー⑨
 - おはよう・おやすみ・ありがとう 心を伝える会話のやりとり ー⑩
 - うちの子も よその子も 共に成長を見守ろう ー⑪
 - 縁あって結ばれた家族 住む地域 ー⑫



豊かな子育てをみんなで応援しよう！

重点目標をわかりやすく

- ①親子共に電子機器の視聴時間をセーブし十分な睡眠をとろう
- ②体力をつけ、体を動かす工夫をして肥満の予防をしよう
- ③親子共に生活習慣病を防ぐため、食生活に気をつけよう
- ④社会生活のルールは家庭のしつけから
- ⑤おやつのだらだら食べやジュースの飲み過ぎは肥満と虫歯の大敵。
しっかり歯磨きをしよう
- ⑥親子の温かいふれあいや会話に本を活用しよう
- ⑦よその子と比べない。自立心や自己肯定感を育てよう
- ⑧自然豊かな町での遊びや体験でたくましく生きる力を育てよう
- ⑨家族みんなが一人一役。できることからやっつけていこう、やらせよう
- ⑩感謝を伝えられる人間性を育てよう
- ⑪子どもの成長を共に見守る仲間づくりをしよう ⑫地域ぐるみで子育てを応援しよう

※詳細は、10月10日発行の町政だよりをご覧ください。

内容	「子育ての「コツと」子育て支援のツボ」
日時	10月31日(水) 10時30分～11時30分
場所	子育て支援センターあり
対象	一般町民
場所以	羅臼小学校多目的ホール
日時	10月30日(火) 18時～20時
内容	PTA研修会・合同講演会

（日程左記の通り）

羅臼町では子どものメディア利用の時間が長く子どもの睡眠や健康にも影響が見られます。（NPO法人）子どもとメディア インストラクター中谷通恵氏（白老町在住）を講師にお迎えし、「子どもとメディアの良い関係」ネット利用と家庭のルールづくり」について学習機会を提供します。また、子育て講座も開催します。

なかやみちえ
中谷通恵氏
子どもとメディア講座・講演

あしたへつながる防災知識

第12弾

災害（停電）に備えよう。

9月6日の未明に北海道胆振地方中東部を震源とするM7の大地震が発生し北海道全域が停電となる非常事態が発生しました。

羅臼町でも停電が完全復旧するまで、地震発生から7日（金）の夜遅くまでかかり、皆さん大変不便な生活だったと思います。

今回の災害を受け、一部地域の災害では無く、広域で発生する災害を身をもって体験したと思います。

では、今回のような広域停電にはどのような対処方法があるのでしょうか。

やはり、多地域から応援を呼ぶことが出来ない状況では、自分たちである程度の備えをしなければなりません。

今回の停電災害を教訓に日頃から防災の備えをしましょう。

大規模な停電が続くとどのようなことが起こるか

- 製造業がストップし、食糧などの物資が足りなくなる。
- 信号が点灯しなくなり、交通機関に影響が出る。
- 病院等で医療体制に深刻なダメージを与えてしまう。

- 冷蔵庫が使えず、食中毒等の危険が増す。
- オール電化の住宅ではすべてが使用出来なくなる。

- 水道や給湯設備が使えなくなる可能性がある。
- 固定電話や携帯電話が使えなくなる可能性がある。

以上のようなことが起こる事が予想されます。今回のように停電が起こった場合、自分や家族が自宅で生活するための非常時の備えが必要になります。

停電時における備えや心構えについて

- 懐中電灯を用意する。

夜や暗い所では必須アイテムです。取りやすいところに置いておきましょう。

- 情報収集用にラジオを用意する。

スマートフォン等でも良いのですが、停電が長期化すると携帯電話のバッテリーはもろろん、携帯基地局の蓄電池も無くなり、最終的に携帯電話自体が使えなくなることがありますので、電池式のラジオがあると良いです。

なお、情報収集の際には、デマ等の誤情報に気を付けましょう。

- 食糧・飲料水・医薬品を備蓄する。

特に高齢者や乳幼児用の医薬品等は入手が難しいので、日頃から用意しておくのがベストです。

また、今回の停電では飲料水等を求めに、住民の方がお店に殺到して大変混雑していましたので、日頃からの用意が重要です。

- 貴重品や現金の用意

停電の長期化により避難することも踏まえ、何時でも持ち出せるよう「貴重品リスト」を用意しておきましょう。

また、お店のレジではカードを読み込む機械が使えない場合があるので、現金を用意しておく和良好的でしょう。

- 非常用電源等になりえる物の用意

停電時に使う電源としてまず第一に乾電池が挙げられます。次に、カセットガスボンベ等で非常時ではお店で直ぐ品切れ状態となるので、備蓄が必要なアイテムです。

また、発電機をもっているご家庭はガソリン等になるかと思えます。

但し、発電機は屋内で使用すると一酸化炭素中毒になりますので必ず屋外で使いましょう。

停電であっても、自然災害であっても日頃から家庭での防災備蓄が重要であるのは変わりありません。

何かあればお店で買えると言うような安易な考えで困ることが無いように日頃から災害に備えましょう。



Rausu's Adventure

～地域おこし協力隊大石が行く 羅臼探険隊～

羅臼へ来る前『ぼくらは知床探険隊』という本を発見し、知床の雄大さや厳しさの中で子どもたちがのびのびと活動していく姿に感動したことを覚えています。この記事のタイトルもきっとこの探険隊の印象が強かったからこそ、自然と選んだと思います。また、この探険隊に参加したいという思いの表れだったのかもしれませんが。羅臼へ来てからも「探険隊へ参加したい。」ということをや場でも教育委員会でも話をさせていただき、念願だった「第36回ふるさと少年探険隊」に参加させてもらうことができました。今回は、わんぱく隊の記録係として探険隊に参加して心に残ったことについて書かせてもらいます。

① 困難を乗り越えた先にある子どもたちの成長

わんぱく隊は、モイルス（ベースキャンプ地）を目指し、約8時間の道のりを歩きます。道中には、『観音岩』という20mほどの岩壁をザイルを使ってよじ登ったり、『デバリ』と呼ばれる突出した地形をロッククライミングのように這ったりと断崖絶壁の多い知床半島ならではの難所を何度も何度も乗り越えていかなければなりません。子どもたちの中には、あきらめそうになったり、泣いてしまったりすることもありましたが、全員乗り越えていくことができました。そこには、一緒に参加している子どもたち同士の励まし合いやスタッフの温かな見守る姿勢やアドバイスがありました。だからこそ乗り越えることができたという実感が子どもたちを大きく成長させました。また、到着してからは、様々な体験プログラムがあったり、食事は全て自分たちの手で作ったりと内容盛りだくさんです。この5泊6日を通して、子どもたちから「できない。無理。」という言葉より「やってみたい。やりたい。」という言葉が多く聞かれるようになりました。子どもたちの気持ちの変化こそ、大きな成長であったと思います。ふるさととの自然の厳しさが子どもたちを成長させ、その成長がふるさとへの親しみをより一層強くしたと感じました。これからの羅臼の子どもたちの成長がますます楽しみになりました。

② プロフェッショナル集団としてのスタッフの対応

36回もふるさと探険隊が続いてきたのは、「この地を子どもたちに感じてもらいたい。」という羅臼で過ごしたスタッフ達の思いの強さだと心から感じました。命を懸けて子どもたちを引率することは、決して簡単なことでなく、誰にでもできることではないということを感じたからこそ強く感じました。また、「夏休みの最高の思い出にしてほしい。」という思いをもち、積極的に子どもたちとかわろうとする姿勢から、地域で子どもたちを育てていることも強く感じました。親の元から離れて5泊6日という子どもたちにとって長い期間、子どもたちの笑顔が絶えなかったのは、スタッフの対応力の高さだと思います。探険隊に参加した子どもたちが、大人になり伝統を引き継いでいくからこそ、プロフェッショナルの集団となっていくことがよくわかりました。

世界自然遺産である『知床』でしかできない体験をさせていただいたこと、子どもたちのキラキラした表情を目の前で見られたこと、何でもこなせるスタッフの対応力を学ばせてもらったことなど、僕自身にとっても最高の思い出ができました。羅臼の新たな魅力を知り、ますます羅臼のことが好きになりました。





城下町のわだい

みんなであちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を实践している
方々を中心に取上げ掲載して行きたいと考えています。
みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！



大会にかける想い 3年生最後の挑戦

～知床未来中学校 表敬訪問～

根室地区中学校体育大会において知床未来中学校野球部は優勝を収め、
「第69回北海道中学校軟式野球大会（知内町、木古内町）」に、ソフトテニス
部は女子団体戦優勝、個人戦準優勝を収め、「第39回北海道中学校ソフトテ
ニス大会（北見市）」に、また、剣道男子個人戦で準優勝を収めた高原誓也（たかはら せいや）さんは「第
39回北海道中学校剣道大会（小樽市）」へ出場してきました。

町長へ表敬訪問した際に「3年生にとつては最後の挑戦となり、悔いの残らないよ
うに大会に挑みたい」と意気込みを力強く語ってくれ、どの競技も大会当日は熱い戦



野球部



ソフトテニス部



剣道

いを繰り広げてくれました。
した。大会結果は、惜しくも野球部初戦敗退、ソフトテニス部団体予選リーグ敗退、個人初戦敗退、剣道予選リーグ敗退となりましたが、全道大会出場という貴重な経験を活かし、これからも充実した活動を送っていただきたいと思えます。
出場された皆様、お疲れ様でした。



第5回しれとこ羅臼こんぶフェスタ

～新たな企画、新たな試み～

常に挑戦を忘れないWG

羅臼昆布にスポットをあてたイベントを通して、世界に誇る羅臼昆布のPR、消費拡大につなげることを目的とした「しれとこ羅臼こんぶフェスタ」が今年で5回目を数え、本町旧国道通りを特設会場として開催されました。

例年に比べ、天候に左右された3日間とはなったものの5回目を迎え、カフェ巡りや体験ブースを充実させるとともに新たな試みとして会場内4店舗の自慢カレーを食べ歩きし、人気No.1を決める羅臼昆布カレー企画や本フェスタから生まれた昆布の作業工程が描かれたらうすこんぶてぬぐいの販売が実施されました。

町内町外問わず、たくさんの方が来場され、会場内隅々まで楽しまれている様子でした。

羅臼町活性化ワーキンググループの皆様、関係者の皆様、お疲れ様でした。



7月28日(土)～8月2日(木)

「探険隊Tシャツ着て帰ろう」 第36回ふるさと少年探険隊

夏休み期間中に町内の小学4年生から中学3年生が、知床半島先端部を歩き、5泊6日の野外活動に取り組みふるさと少年探険隊。伝統のこの事業は今年で36回目を数えます。

朝5時、子どもとスタッフ総勢60名が公民館に集い、出発式を終え、5泊6日間の旅が始まりました。

モイルス湾のベースキャンプを拠点とするわんぱく隊では、自分たちが入浴する風呂づくりや、チューブや木材を使い、学んだロープワークを活用して作るイカダ作りなど様々な野外活動に挑戦し、ふるさとの自然に触れ合いながらひとつひとつクリアしていきました。

一方、厳しい道のりをひたすら進み、知床岬を目指すチャレンジ隊では、危険と隣合わせでありながらもお互いにサポートし合い、難関箇所にも果敢に挑み知床岬を目指しました。

6日間という短いようで長い時間を共に過ごした仲間達。「団体生活の大切さを知る」今回の探険隊を通して子どもたちはまたひとつ大人になりました。

過ごした時間を振り返るランタンファイヤーでは、「明日は探険隊Tシャツ着て帰ろう」の隊長の一言から36回目にして初めて、ゴールを目指す全員が今年のカラー緑色の探険隊Tシャツを身にまとい、思いをひとつに相泊に帰ってきました。

参加者の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様お疲れ様でした。



8月17日(金)

全国への挑戦 知床未来中学校の名を掲げて

第26回全国中学校空手道選手権大会が宮崎県で開催され、知床未来中学校から3名の生徒が団体形の部に出場してきました。経験したことのない全国の舞台で、緊張や会場内の雰囲気にも負けず、堂々とした戦いを繰り広げ、初戦突破を果たしました。1勝ずつ勝ち抜いていきたいと出発前に話していた選手たちは、有言実行したものの、惜しくも2回戦敗退となりました。

1勝できた喜びと同時に、2回戦目以降も勝ち進みたいと新たな思いも込み上げてきたところでの敗退となり、悔しさも残ると今回の戦いを振り返り、今後については、全国への常連校となるように練習に励んでいきたいと抱負を語ってくれました。

これまでの大会とは異なる人の多さだったり、強豪校だけが集まる圧倒される雰囲気だったり、今まで味わったことのない中での戦いに挑んだ3名に、労いの言葉を贈りたいと思います。



松山 夢希さん(3年生)
野地 一颯さん(2年生)
村田 颯さん(2年生)

8月22日(木)

大規模災害に備える 春松地区で防災・安全教育研修会実施

避難所に指定されている春松小学校を会場に春松幼稚園・小学校教職員、地域住民を対象に防災・安全教育研修会が実施されました。約20名の方が研修会へ参加され、町役場総務課防災担当者が講師となり、町の防災計画を基に大規模災害に備えるための講話が行われ、その後避難所に保管されている防災備蓄品の使い方の実技が行われました。

長期にわたる避難所生活を想定し、味や食感が工夫された非常食の試食や段ボールベッドの寝心地も体験し、参加者からは想像以上と驚きの声が上がっていました。

これから冬へと季節は変わりますが、改めて防災について考え、備えをお願いいたします。



8月27日(月)・8月30日(木)・9月11日(火)

飛んでクルーズ北海道 〜 につぼん丸今年も寄港〜

商船三井客船につぼん丸の人気ツアー「飛んでクルーズ北海道」で、今年も小樽を出発し、利尻島、礼文島を経由し、羅臼町へ寄港しました。羅臼町へ上陸したにつぼん丸旅行客は、オプショナルツアーに参加し、観光船に乗りフジラの発見に感激したり、羅臼湖トレッキングに出掛けたり、自然を満喫したりと町内を堪能して帰られました。につぼん丸だけの特別企画として大好評の知床・羅臼ダイニングでは、世界自然遺産のまち知床・羅臼町の大自然を再現した会場が公民館に作り上げられ、羅臼の旬な食材を使って、昼食が提供されました。

また、寄港している時間帯に町民歓迎として、につぼん丸船内見学会が実施されました。参加者からは、海の上にいることを忘れるくらいの船内の快適さや贅沢すぎる船内設備に驚きの声飛び交っていました。次の寄港が決まった際は、ぜひ船内見学会へ参加してみてください。



9月13日(木)

らうすコロっと飯で 狙うはグランプリ 〜 本選に向けて試食会を実施〜

10月7日(日)に音更町で開催される「第6回高校生チャレンジグルメコンテスト」に羅臼高校生が出場を決め、本選出場に向けて羅臼町公民館において町内試食会が開かれました。

試食会には、町長はじめ料理指導にあたられている町内飲食業連合会関係者、食材無償提供を実施している羅臼漁業協同組合関係者等が招かれ、今大会の出品料理「らうすコロっと飯」が披露されました。町内で水揚げされている「ニシン」と羅臼町が誇る高級食材「羅臼昆布」を使いライスコロツケをアレンジした料理に仕上げ、お好みのソースをつけていただく「らうすコロっと飯」の登場に様々な意見が飛び交いました。

羅臼高校生からは「食べたことのない料理、本番200食を作ることを想定した料理」と料理考案から試食会に至るまでの経緯が説明され、講評に対しては、「今回指摘された部分は改良し、本番はグランプリを狙っていききたい」と強く思いを語ってくれました。

これまでに3度のグランプリを受賞している羅臼高校生ですが、昨年度は惜しくも準優勝。悔しい思いを味わったメンバーも今回は最高学年として最後の挑戦となります。悔いの残らないよう、準備期間を含め、大会当日も最高のパフォーマンスを上げてきて欲しいと思います。町民の皆様も、羅臼高校生にエールを。



羅臼町の給食を羅臼町公式フェイスブックで公開

羅臼町学校給食センターでは、羅臼町の魚介類を食べてほしいという思いから、給食食材に羅臼の魚介類を使用するため、例年各事業者・団体の皆様から食材（サケ・スケソ・コンブ・イカ等）の無償提供を受け、取り組んでいます。

今年度も既に、4回の無償提供をいただいております。羅臼昆布は昆布ごはん、ドスイカ及び宗八カレイは唐揚、鮭節は鮭節昆布ラーメンとして、子どもたちに提供されて大変好評です。

この取り組みは、10年以上前から行われていますが、町民の皆様にご存知いただく機会が少ないため、今年度から町民の皆様や町外の方にも幅広く知っていただくと思い、羅臼町公式フェイスブックに無償提供してくださった食材の情報、食材がどのような給食になったのか調理工程や実際の給食の写真を掲載しています。

今後も随時更新を行ってまいりますので、皆様ぜひご覧ください。



カレイの唐揚



イカザンギ



羅臼町公式Facebook

TAXコラム

(税務財政課通信)

情
報
ひろば
RAISSU TOWN
INFORMATION

〈地方税合同公売会を開催します〉

羅臼町税と道税の滞納により差し押さえた物件を一同に集め公売会を開催します。

公売会には釧路・根室管内の市町村から多くの物件が出品され、入札やせり売りに参加することが出来ます。

●日時：10月14日（日） 11時開場

入札 … 11時～13時（開札：13時～）

せり売り … 12時～（受付：11時55分まで）

●場所：釧路市観光国際交流センター 1階大ホール（釧路市幸町3-3）

●その他：参加する方（個人、法人、代理人、未成年者）により参加条件や参加に必要な物が異なりますので、詳しくは以下にお問い合わせ下さい。

●問合せ先：北海道根室振興局税務課 ☎0153-24-5488

【9・10月の夜間窓口】

〈9月〉 夜間窓口 9月28日(金) 午後7時まで
休日窓口 9月30日(日) 午前9時から午後5時まで

〈お問合せ先〉

役場税務財政課
TEL 87-2113

寄付・寄贈ありがとうございました

【財政調整基金】

(株)シャイニー 代表取締役 實政 眞也 様

【知床未来中学校備品 楽器保管棚】

羅臼町建設業協会 様



【知床・羅臼まちづくり基金】

【自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまちに関する事業】

北海道コカ・コーラボトリング(株) 様

【持続的な行財政運営ができるまちに関する事業】

【その他、目的達成のために町長が必要と認める事業】

杉下 道昭 様

(平成30年7月11日～9月10日受付分掲載)



おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

8月例会句
平成30年8月

波騒ぎ朝焼けに雲乱れ飛ぶ

悠羅

草いされ墓碑は海へと傾きおり

鹿山

夏の海女いたわり夫は網を引く

泥舟

防人の陣屋の跡地草いされ

羅牛

物怪も息を潜めし草いされ

英美

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。

〒086-1823 羅臼町栄町

羅臼いさり火吟社 宮腰 實

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成30年8月末現在 ()内は平成30年7月末対比

人口 5,081人 (- 1) 男 2,520人(+ 3)
世帯 2,071世帯(± 0) 女 2,561人(- 4)

編集後記

北海道全域にて停電が発生し、羅臼町でも電気のない生活が約2日間続きました。いつになったら停電が復旧するのか、皆さんも不安な時間を過ごしたことと思います。その不安を和らげるかのように、夜空には無数の星が輝いていたのをご覧になられたでしょうか。街灯がついていない分、いつもよりはっきりと綺麗に光り輝いていて非常事態でありながらも、感激しました。

北海道胆振東部地震により被災をされた皆様に心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 平成30年9月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>